

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。

2 練習について

練習は第二陸上競技場、雨天走路及び競技役員の手配する場所において、競技役員の手配のもとに行う。なお、棒高跳びについてはメインスタジアム内（棒高跳ビット及び周辺）で練習することができる。

3 開門・受付について

準備のため、競技場は7時30分に開門します。学校受付は8時から正面玄関です。役員の手配は8時45分より実施する。

4 招集について

- (1) **招集所は、南側サイドスタンド1階の倉庫に設ける。**

動線を確保する。全てのフィールド競技（跳躍および投てき競技）に関しても招集場所でコールを受ける。

- (2) 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の開始時刻を基準に、次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	30分前	20分前
フィールド	50分前（跳躍）40分前（投擲）	40分前（跳躍）30分前（投擲）

※プログラム内の「競技日程及び招集時間」のページに記載しているので確認すること。

- (3) 招集の手順（※従来の手順から変更しています）

<トラック・フィールド競技>

- ① 招集開始時刻までに招集所内に掲示してある**各種目別集合場所（コーン・張り紙で掲示）**に座って待機する。

- ② 競技者は招集完了時刻には招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技者係にアスリートビブスと競技用靴・衣類、その他の携行品の商標・サイズ等について確認を受ける。なお、**シューズの靴底の厚さの規定については、徳島陸上競技協会ホームページで確認すること。規定外シューズでの参加は認めない。競技終了後、規定外シューズでの出場を確認した場合は失格とする。※シューズの靴底の厚さの規定については徳島陸上競技協会HPで確認する。**

- ③ 代理人による最終点呼は認めない。但し、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに本人または代理人が**競技者係**に申し出ること。

- ④ リレーに出場するチームは、**第1組目の招集完了時刻60分前までに**、オーダーを記入して、**競技者係に2部提出すること（オーダー用紙はプログラム末尾につけてあるリレーオーダー表を使用すること）。**

- (4) 混成競技出場者は最初の種目のみ、招集所で3の(2)に従って競技者係の点呼を受けるが、以後の種目については、招集完了時刻5分前までに本競技場ピットに集合して点呼を受け、係員の指示に従うこと。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
- (6) 招集所は、**当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止**する。
- (7) 競技場へは係員の誘導により入場する。
- (8) **競技場内では、静かに行動すること。特に、待機場所へ移動・到着後は競技進行の妨げにならないよう十分注意し、静かに待機しておくこと。**

5 競技について

- (1) 短距離走では、安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーンを走る。
- (2) 男女のトラックレースはすべてタイムレースとし、100～800mまでは上位8名、1500m～3000mは12名が決勝に進出する。
- (3) ① リレーの競技者は、ダッシュ・マークとして1カ所自分のレーンにチョークや類似品を使わず粘着テープによって印をつけてもよい。その印は自チームの競技者が必ず取り除くこと。また、テープの色はコースに使用していない色を使用する。
② リレーのメンバーは同一のユニフォームを着用すること。色・デザインが統一していれば、同一とみなす。
③ リレーチームの編成は、所属チームのメンバーでプログラムに記載されている競技者であれば出場することができる。ただし、出場するメンバーのうち2人以上はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。
④ リレーチームの編成は、一度申告したら変更は認められない。申告後は、招集完了時刻までに主催者が任命する医務員の判断がない限り認められない。この規則に従わなければ、チームは失格となる。
- (4) 棒高跳・走幅跳では、主催者が提供したマーカーを助走路外におくことができる。走高跳では、助走や跳躍の際、主催者が承認したものをおくことができる（マーカーは、薄く且つ競技者が踏んでも支障のないものであること）。
- (5) **三段跳びは3回の試技後、上位8名が残り3回の試技を行う。**
- (6) 走幅跳・砲丸投の予選において、上位12名が決勝に進出することができる。1年砲丸、男女円盤は決勝のみとする。（円盤はサブで実施）
- (7) フィールド競技（高跳び・棒高跳びを除く）の決勝における試技順は記録の低い順から、試技をする。
- (8) 不正スタートは1回で失格とする。（ただし混成競技は除く）
競技規則第162条5(a)(b)(c)の「動作」は不適切行為とせず、2017年度競技規則と同様にすべて注意（競技者全員にグリーンカード）にとどめる。
- (9) **トラック競技における腰ナンバー標識（カード）は各自で準備して貼り付けること。**ラベルシールの腰ナンバー標識は粘着が少し弱いので、ユニフォームに貼り付けた後、安全ピンや布テープなどを用いてしっかりと留めておくこと。（1500・3000mに関しては両腰につけるようにしてください。）
- (10) 100m、ハードル競技において、条件によっては、バックストレートを使用することがある。
- (11) 商標に関しては上半身/下半身の衣類は製造会社名のロゴは1カ所に限る。商標違反した場合はそのアイテムを取り除く、隠す等で指示される場合がある。
陸上競技ルールブック2024<競技会における広告および展示物に関する規定>の通りとする。
- (12) **ナンバーカードのサイズは規定通り、横24cm以内、縦16cm以内のアスリートビブスを着用して、大会に参加すること。**

6 助力について

指導者とコミュニケーションをとれる場所は競技場内のコーチングエリアからのみとする。

7 競技用具について

競技用具は、主催者が準備したものを使用すること。（棒高跳のポールは各校が準備したものを使用する。）

8 表彰について

- (1) 各種目の第1位～第8位までには賞状を授与する。(ただし、リレーは第3位まで)
- (2) 表彰式は実施する。各種目3位までは表彰式をする。4～8位にまでの入賞者は正面玄関まで賞状を取りに来ること。

9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

() の中の高さが練習の高さとするが、天候等の条件で審判員の判断で変更する場合がある。

中学校	男子	走高跳	(1.45)・1.50……1.55……1.60……1.65……1.70……1.75……1.78……1.81……1.84……1.87……
		四種競技 走高跳	(1.35)・1.40……1.43……1.46……1.49……1.51……1.54……1.57……
		棒高跳	(2.50)・2.60……2.80……3.00……3.10……3.20……3.30……3.40……
	女子	走高跳	(1.25)・1.30……1.35……1.40……1.43……1.46……1.49……1.52……1.55……
		四種競技 走高跳	(1.15)・1.20……1.25……1.30……1.33……1.36……1.39……1.42……

10 引率者及び監督について

本競技会に出場するチーム・選手の引率者、監督、〈部活動指導員〉、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

11 抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は、抗議に関連する種目の同じラウンドで競技している競技者またはチームに限りすることができる。競技規則146条に従って定められた時間内に、競技者自身またはチームを公式に代表する者が審判長(本部席の担当総務員に申し出る)に対して口頭で行い、指定された控え室で待機する。

12 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- (3) 大会の映像は主催者の許可なく第三者がこれを使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)を禁止する。

13 その他

- (1) 本大会は51回全日本中学校陸上競技選手権大会の指定大会とし、参加標準記録突破者は出場権を得る。また、第62回四国中学総体陸上競技大会予選(各種目上位4位まで・リレー2位まで)、U16/4×100リレー徳島選抜リレーの選考対象の大会にもする。
なお、各種目において四国大会の出場権を得た選手の顧問の先生方は、お帰りまでに中体連陸上競技専門部長西田のところ(会議室)で手続きと必要書類を必ず持ち帰ること。全中が決まった選手の顧問の先生方は13日の競技終了後、会議室で「申込」、「競技日程」についてや「宿泊」についての会議をしますの
で、必ず参加すること。(6日に四国大会出場が決まった学校は6日に書類を取りに来ててもかまわない。)
※ただし、新設された男女円盤、女子棒高、徳島独自設定種目の1年生砲丸は四国大会の種目にはない。
- (2) 他の競技で県総体および四国総体に登録メンバーとして参加し、全国大会の出場権を得たものは、その競技を優先する。また、都道府県で標準記録の到達者が10名に満たなかった場合は推薦による10名(男女比は問わない)以内の参加が認められる。ただし1人1種目とする。
- (3) 四国総体出場制限について
 ① 1人2種目とする。但し、リレーは除く。
 ② 学年別種目は、該当学年の者しか出場できない。
- (4) 競技場は常に清潔保持につとめ、紙くず等は必ず持ち帰ること。また、荷物等は各自が責任を持って管理し、盗難に十分注意すること。
- (5) 申込一覧表と参加費は大会当日受付で提出する。
- (6) 悪天候等の理由により、競技会が競技開始後に中止になった場合は参加料の払い戻しを行わない。
- (7) 競技者の意に反する写真撮影等の迷惑行為を行う者を発見したときは、速やかに本部係員まで連絡すること。
- (8) 撮影禁止エリアの設置及び不適切な撮影行為の禁止について(詳細はHPで確認すること)
 100mスタート地点後方は、撮影禁止エリアとさせていただきます。また、女子競技者がスターティングブロックを用いてスタートする場合の後方からの撮影、女子跳躍競技者の助走前方からの撮影(走高跳は北側サイドスタンドからの撮影)についても禁止させていただきます。撮影禁止エリアで撮影行為を発見した場合、また撮影禁止エリア以外でも不自然な撮影行為や盗撮が疑われる場合については、競技役員が撮影内容を確認させていただきます。なお、盗撮を発見した場合は、直ちに警察へ通報いたします。